

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 3月 24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2791300029		
法人名	社会福祉法人 貝塚誠心園		
事業所名	グループホーム きしまの里		
所在地	大阪府貝塚市三ツ松869-1 (電話) 072-446-8200		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成20年3月18日	評価確定日	

## 【情報提供票より】(平成20年2月12日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 19年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7.5 人	常勤 6人, 非常勤 3人, 常勤換算	7.5人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	3 階建ての	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

### (4) 利用者の概要(2月12日現在)

利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1		要介護2	
要介護3	6	要介護4	2
要介護5	1	要支援2	
年齢	平均 88.2 歳	最低 84 歳	最高 93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人桐葉会 木島病院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成19年4月1日に開設したばかりで、白い3階建てのきれいな施設です。1階はデイサービス、2階はグループホーム9床ととショートステイ10床、3階は地域密着型特養ユニット型の20床となっており、施設内での交流を図ることもでき、安心感があります。水間鉄道「三ツ松」駅から徒歩3~4分のところにあり、交通アクセスは良好です。静かな環境で、向かいには小学校があり、木島地区に保育所や病院などもあり、連携や交流が図りやすく地域全体と良好な関係が築けている印象を受けました。施設内は、採光に工夫され、空調も最新式で温度だけでなく湿度管理ができる機具を取り付けてあり、入居者の皆様の健康管理に配慮されていました。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	平成19年4月に開設したばかりのため、評価を受けるのが今回初めてです。今回の評価で指摘されたところを、より良いサービスの質の向上のために活かしたいと意欲的に取り組もうとする姿勢が窺えました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の課題について職員間で話し合い、外部評価を受ける意義を職員全員に周知徹底されていました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に1回(偶数月)開催されており、ホーム内の行事の報告や今後の予定・取り組みについて報告がされています。委員会で出た意見や要望については、サービスの質の向上のため、真摯に受け止め、改善できることから取り組んでいる姿勢が窺えました
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱の設置や、面会に来られたご家族にその都度要望・意見をお聞きするように心がけています。聴取された意見・要望については職員全体で話し合い、ホームの運営に活かし、入居者の方々やご家族に安心していただけるように努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の祭り(貝塚だんじり)の見学や、小学校や保育所の行事に参加。小学校から招待されることもあるそうです。また、子供たちや地域の方々がホームを訪問して、催し物を披露してくださるなどよい関係が築けています。天気の良い日は散歩に出かけて、地域の方とかかわりが持てるように工夫されていました。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「安心・信頼・満足」をモットーに、ホームでの生活において残存機能の活用を図り、その人らしく楽しく生活できるように支援するという理念が作り上げられています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念を掲示板に掲げ、いつでも誰でも見ることができるように工夫されていました。毎月1回、職員会議を開き理念や方針に沿った話し合いがされています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	貝塚だんじりは毎年10月9日、10日に行なわれ、施設の前をだんじりが通るため、地域の方々と一緒に見物されたり、ホームの前にある小学校や近所にある保育所と良い関係を持たれ、運動会などの行事に招待されたり、ホームに慰問に来ていただく等交流が図られていました。地域に開かれたホームという印象を受けました。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設の設立が平成19年4月1日のため、外部評価を受けることが今回初めてです。運営者、管理者は職員全員に外部評価の意義を説明し、周知徹底されており、今回評価されたことを今後の運営に活かして行きたいと前向きな姿勢がうかがえました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1度開催されており、利用者代表・家族代表・職員代表はもとより、地域代表として三ツ松町会長や貝塚市高齢介護課の職員も構成メンバーに入っています。ホームでの現状や取り組みなどの報告を行い、ホームへの理解を深めていただくよう努力されています。また、その場で聞かれた意見については職員間で話し合い、サービスの向上に活かす工夫がされていました。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>現在、運営推進会議以外では市町村担当者と行き来する機会がないとのこと。今後は相談等を綿密に行い連携をとって行きたいと自己評価でも課題にあげられていました。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に利用者の近況報告を行い、状態が変化された方については速やかに電話連絡を行っています。金銭管理については毎月報告をされています。</p>		<p>今後、ホーム独自の広報やお便りを発行し、ホーム内での暮らしぶりや行事の様子を知らせるようにされてはいかがでしょうか。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>特に家族会などは設けられていませんが、19年12月には利用者のご家族と一緒にケーキ作りをして家族同士も交流が図れるように配慮されていました。苦情や意見については意見箱を設置したり、面会時にご意見を聞くように働きかけています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1年間で職員の異動はありましたが、最小限に留め、利用者には不安を与えないように配慮されていました。</p>		<p>職員の顔と名前が一致するような表を作成し、利用者やご家族にも職員のことを分かっていたらできるように工夫されてはいかがでしょうか。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員育成のため、入職時より全ての項目のマニュアルを1冊のファイルにして1人に1冊ずつ手渡しています。職員は法人での委員会や研修に参加し、知識や技術を習得できるよう支援されています。		
11	20	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホームの開設前に、職員研修として他の事業所のグループホームで体験研修を受けさせていただき、現在は電話にて連絡や情報交換を行なっています。		地域の同業者とのネットワーク作りという視点で、今後は電話連絡だけではなく、相互に行き来をして交流を図られてはいいかでしょう。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<b>馴染みながらのサービス利用</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談があれば施設を見学していただき、いきなりサービスを開始するのではなく、本人や家族が安心してホームの雰囲気になれるよう工夫されています。入所後はご家族の面会回数も本人の状態に合わせて配慮されています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<b>本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームの理念・方針の中に利用者の残存機能を活かすということを掲げられ、職員は利用者の方々と共に洗濯物干しや洗濯物たたみ、自室の掃除、植物の世話などを行ない、それぞれに役割を持っていただくように工夫されていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入所時にご家族から情報収集を行ったり、利用者の会話の中から情報を得て本人の希望や意向の把握に努めています。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>その人がその人らしく過ごせるように、日々の生活の中から課題を見つけ、本人や家族、職員の意見を取り入れたポジティブなケアプランが立案されていました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に見直しが行なわれています。また、本人の体調や状況の変化があれば速やかに計画の見直しが行なえる体制が整っており、現状に即した介護計画が作成できるように努めています。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同じ建物の中に特養やデイサービスがあり、身体レベルによって機械浴を借りるようにしています。ホームの近くに協力病院があり、体調が急変したときは本人やご家族の意向を確認した上で柔軟に対応ができるような体制ができています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族には身体状況について細部に亘り報告を行なっています。受診に関してはかかりつけ医やホームの協力医療機関等の選択肢があり、希望される医療機関に受診していただいています。受診が必要な場合は送迎等の体制も整っています。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>現在ホームの利用者の中に要介護5の方が1名いらっしゃいますが、食事介助等行いながら受けいれています。医療的なターミナルの受け入れは今までで行なったことがなく、何かあれば病院に搬送することになっています。</p>		<p>看取りに関するマニュアルは法人全体で作成されていますが、ホームでは看取りを行なったことがないとのことです。ホーム内で、職員の技術・知識向上やサービスの質の向上のため看取りについての研修を行ない、今後希望があればいつでも対応ができるような体制を作られてはいかがでしょうか。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉かけは利用者の人権を尊重され、優しく親しみが感じられました。利用者の方に安心を与え、心地よい言葉遣いです。記録等の個人情報は鍵のかかる書庫に保管され、職員がその場を離れても情報が流出しないように配慮されています。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その人がその人らしく過ごせるように、希望があれば散歩や買い物に出かけ、日々の暮らしの中に役割を持っていただけるように支援されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は併設の施設があるため、委託業者に3食とも作ってもらっています。食事が楽しみとなるよう、食事の献立はフロアに貼り出ししており、毎月1回おやつ作りをしたり、食後に食器を洗うなど残存機能を活かす工夫がされています。		食事作りは委託であっても、盛り付けや配膳などを利用者の方に取り組みんでもらってはいかがでしょうか。また、2~3ヶ月に1度くらいは利用者の皆さんと献立を考えたり、買い物に行き料理を作るといった機会があっても良いのではないかと考えます。ご検討下さい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	フロアに個室があり、現在は概ね週2回入浴を行なっています。体調不良や本人の気分により時間や回数や曜日は調整できるように対応しています。施設内にある機械浴を使用されている方も居られ、本人の身体状況によって柔軟な対応を行なっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や洗濯、植物の世話などその人が持っている力を活かし、役割や楽しみ達成感などが感じられるように支援されています。地域の方たちの訪問も頻回にあり、気分転換が図られています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望があれば散歩に出かけたり、コンビニやスーパーマーケットへ買い物に出かけるなどの支援が行なわれています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵は本人の要望がない限り掛けない、日中はホーム全体の鍵も掛けないように取り組んでいます。施設1階の鍵は物騒なため夜間のみ掛けています。職員全員が鍵をかけることの弊害を理解されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災マニュアルは整備されています。消防署の立会いのもと定期的に防火訓練が実施されています。3月には夜間非常召集訓練を実施されるため、連絡網の整備がされていました。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>施設の栄養士がカロリー計算などを行っており、食事時にはミールラウンドを行っており、利用者の摂取量や嚥下状態等の確認をしています。水分摂取量についても個々に必要な水分量の摂取を促し、本人の嗜好にあった飲み物を提供されています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアの採光には配慮され、ベランダにはプランターに植えられた花があり、窓から眺めることができます。食事の準備の音や利用者同士の会話が心地よく感じられました。テレビの音量も生活の中で不快な感じはありません。生活感や季節感があり、居心地の良い空間作りに工夫されています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族が調度品や衣装ケースや椅子などを持ち込まれ、家族と利用者が自由にくつろげるような空間作りをされています。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。